

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2021
December No.1118 **12**月



表紙

中央小学校学習発表会
6年生「エルコスの祈り」
のフィナーレ
(関連記事：19ページ)

Pick up

- ✿ 本別のだいどころ
- ✿ 本別都市計画用途地域を変更しました
- ✿ 地域おこし協力隊が行く **Part 18**

令和2年度版

わがマチ マイタウン本別のだいたいどころ

このように使われました!

令和2年度の各会計の決算状況がまとまりました。皆さんから納めて頂いた大切な税金や国・道からのお金などが、どのように入ってきて(歳入)、どのように使われたか(歳出)、また、今の本別町には財産や預金、借入金がどれくらいあるのかを、表や豆グラフを使ってできるだけわかりやすくお知らせしたいと思います。

一般会計の 決算状況



- 総務費 14億 214万円** (1人当たり 21万3,643円) **17.9%**
町の企画や防災、造成、選挙、庁舎の維持管理、放送・通信の整備などに使われるお金です
- 民生費 11億9,635万円** (1人当たり 18万2,287円) **15.3%**
児童や高齢者福祉の推進、社会福祉充実のために使われるお金です
- 衛生費 10億 863万円** (1人当たり 15万3,684円) **12.9%**
保健事業やゴミ処理など、健康と衛生的な環境を維持するために使われるお金です
- 土木費 7億9,275万円** (1人当たり 12万 791円) **10.1%**
道路の改良や維持、公営住宅の建設や管理などに使われるお金です
- 公債費 6億9,855万円** (1人当たり 10万6,438円) **8.9%**
事業を行うために借入れたお金の返済に使われるお金です
- 農林水産業費 5億4,085万円** (1人当たり 8万2,409円) **6.9%**
農業・林業の発展のために使われるお金で、農林道の整備、農業用施設・機械購入などに使われるお金です
- 教育費 3億2,542万円** (1人当たり 4万9,584円) **4.2%**
小学校・中学校での教育や社会教育(学校教育以外の教育)などに使われるお金です
- 商工費 3億2,281万円** (1人当たり 4万9,186円) **4.1%**
商工業の発展・振興などに使われるお金です
- 消防費 2億6,786万円** (1人当たり 4万 814円) **3.4%**
火災の予防活動や火災現場での消火活動、人命救助や傷病者の救急搬送等、消防活動に使われるお金です
- その他 4,060万円** (1人当たり 6,186円) **0.5%**
議会の運営、勤労者対策、災害復旧などに使われるお金です
- 職員費 12億3,256万円** (1人当たり 18万7,805円) **15.8%**
職員の給料などに使われるお金です ※令和2年度から会計年度任用職員分も含む

歳出
総額 **78億2,852万円**
町民1人当たり 119万2,827円

歳入
総額 **79億5,604万円**
町民1人当たり 121万2,257円

町民1人当たりは、令和3年3月末人口 6,563人で算出しております。

依存財源: 国や道の決定や割り当てに基づいて入ってくるお金のことで、地方交付税や国庫支出金・道支出金のほか、地方譲与税、各種交付金、また、地方債(町債)もこれに該当します。
自主財源: 町税など皆さんに納めていただくお金のことで、他に分担金および負担金、使用料および手数料、寄付金、繰越金等があります。財政の自主性と安定性を確保する上では、自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいです。

- 36.8%** 地方交付税 29億2,735万円 (1人当たり 44万6,038円) 5ページに掲載しています
- 25.5%** 国・道支出金 20億2,992万円 (1人当たり 30万9,298円) 国や道から入ってくる使い道の決まっているお金です
- 町債 6億5,798万円** (1人当たり 10万 256円) 町が事業を行うために借り入れたお金で、いわゆる借金のことで
- 8.3%** 地方譲与税 1億5,028万円 (1人当たり 2万2,898円) 自動車重量税など、徴収の利便性から一旦国税として徴収された後、市町村に一定の基準により譲与される税です
- 1.9%** 地方譲与税 1億5,028万円 (1人当たり 2万2,898円) 自動車重量税など、徴収の利便性から一旦国税として徴収された後、市町村に一定の基準により譲与される税です
- 2.4%** その他 1億9,786万円 (1人当たり 3万 148円) 交通安全対策特別交付金や地方消費税交付金など、国や道から交付されるお金です
- 町税 9億6,793万円** (1人当たり 14万7,483円) 町民の皆さんに納めて頂いた税金のうち、直接、町に入る税金で、町民税・固定資産税などです
- 12.2%** 繰入金 3億7,676万円 (1人当たり 5万7,407円) 貯金(基金)を取り崩したお金です
- 4.7%** 諸収入 2億2,691万円 (1人当たり 3万4,574円) 貸付金元利収入や介護保険収入、貯金利子などのお金です
- 2.9%** 寄付金および財産収入 1億4,020万円 (1人当たり 2万1,362円) 町民の皆さんから頂いた寄付金や、財産運用(土地の貸し付けなど)などによるお金です
- 1.8%** 繰越金 1億2,969万円 (1人当たり 1万9,761円) 前年度に残ったお金です
- 1.6%** 使用料および手数料 1億2,239万円 (1人当たり 1万8,648円) 公共施設の使用料や役場で発行する証明書類の発行手数料などです
- 1.5%** 分担金および負担金 2,877万円 (1人当たり 4,384円) 農家の人が納める土地改良などの受益者分担金、保育料などです
- 0.4%**

地方譲与税のうち、森林環境譲与税は、令和元年度より国から市町村および都道府県に対し譲与が開始されています。使途については法令で定められており、森林整備や担い手対策、木材利用の促進や普及啓発等に関する費用に充てることができます。本別町では令和2年度は森林環境譲与税基金に積み立てています。

豆のマチ様んべつだから(豆さやグラフ)

地方交付税

地方交付税は、国から交付される町の大きな収入源となっています

地方交付税は、法に基づき交付されるものです。うち普通交付税が、右のトラ豆グラフの通り町の重要な収入になっています。

- さて、普通交付税がどのように計算されるかという、全国的に標準となる町のモデルを作る
 - このモデルの必要な経費を計算する
 - 本町分は、このモデルの経費を補正して計算する
 - 算出された経費総額から本町の収入を差し引く
- このように計算したものが、町の普通交付税収入です。

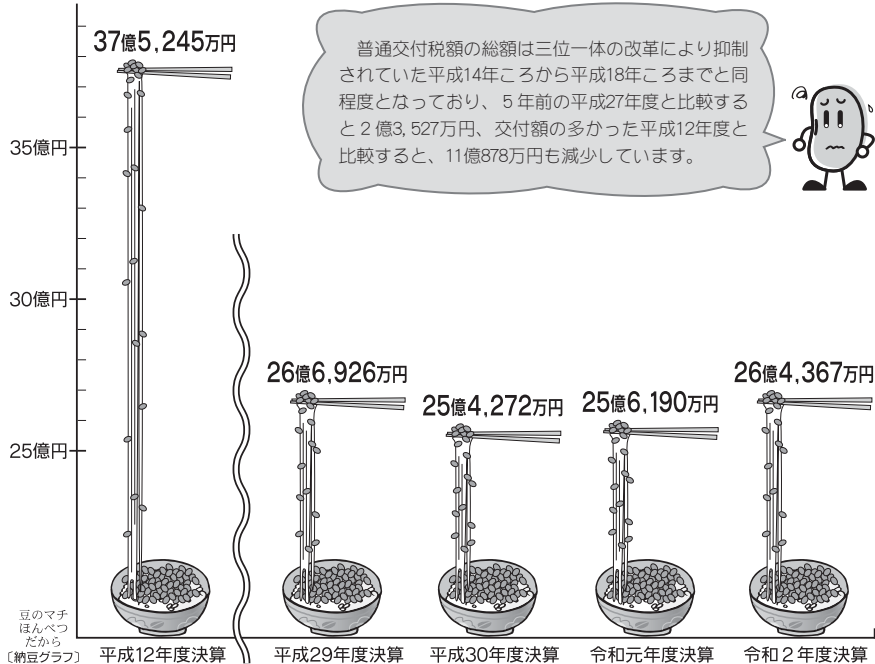
地方交付税には2種類あります

地方交付税には、普通交付税と、特別交付税があります。大きなものが普通交付税で、特別交付税は、災害があった時など特殊な事情に対して交付されます。

国の財政事情や政策が普通交付税に反映

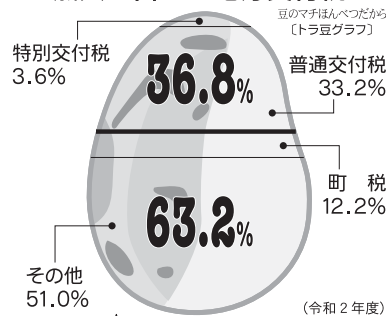
普通交付税は、国税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）収入の一定割合により交付されますが、景気の落ち込みによる税収不足により、国債の発行など、その他の財源も使って交付されています。従って、国の財政事情や政策が普通交付税交付額に大きく反映されます。どのように普通交付税が推移してきたかは、下の納豆グラフの通りです。

普通交付税の推移



普通交付税額の総額は三位一体の改革により抑制されていた平成14年ころから平成18年ころまでと同程度となっており、5年前の平成27年度と比較すると2億3,527万円、交付額が多かった平成12年度と比較すると、11億878万円も減少しています。

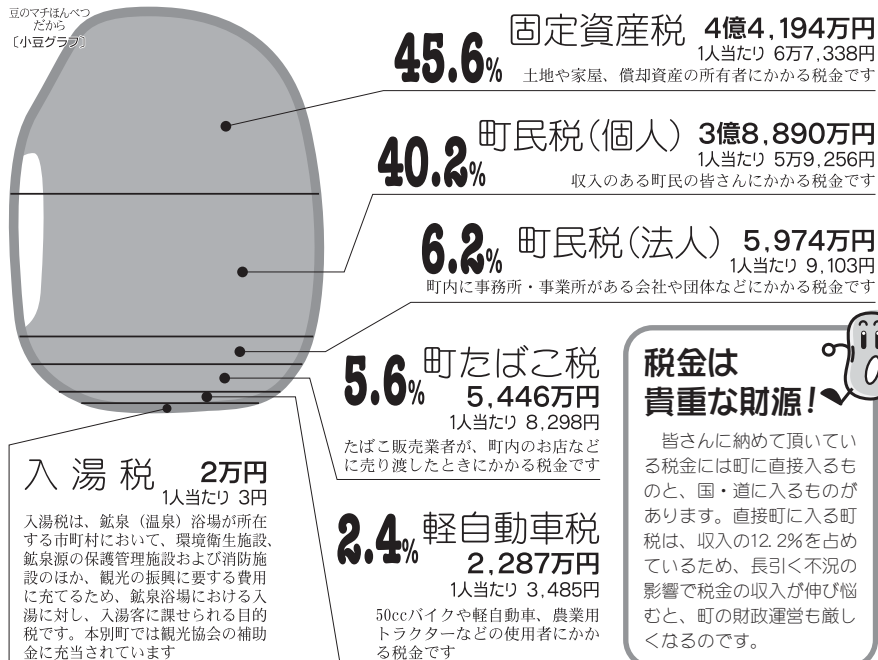
歳入に占める地方交付税



本別町の財政が厳しくなっている原因は、この普通交付税が大幅に減額されてきたことによるものです。

町税の内訳

総額 9億6,793万円
町民1人当たり 14万7,483円



税金は貴重な財源!

皆さんに納めて頂いている税金には町に直接入るものと、国・道に入るものがあります。直接町に入る町税は、収入の12.2%を占めているため、長引く不況の影響で税金の収入が伸び悩むと、町の財政運営も厳しくなるのです。

入湯税 2万円

1人当たり 3円
入湯税は、鉱泉（温泉）浴場が存在する市町村において、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設のほか、観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課せられる目的税です。本別町では観光協会の補助金に充当されています

一般会計の財産および預金等の状況

町にも預金があるんです
町も皆さんの家庭と同じように、余裕のあるときには預金を積み立てて、大きな事業を行うときにやりくりが苦しくならないようにしています。

財産の状況

公有財産土地	1,532ha
公有財産建物	10万4,748㎡
山林	1,286ha
有価証券および出資金	7,423万円
車両	78台

豆辞典
財政調整基金：
町の財源を調整するための預金
減債基金：
借入金の返済に充てるための預金

預金(基金)等の状況

基金等の種別および目的	令和2年度末現在高
積立基金	
財政調整基金	7億1,368万円
減債基金	4億2,323万円
特定目的基金	
福祉の充実	3億2,344万円
産業の振興	2億4,696万円
教育・文化・スポーツの振興	1億4,150万円
その他	7億5,153万円
定額運用基金	
土地開発	2億1,037万円
その他	8,532万円
合計	28億9,603万円

令和2年度 主な事業

～一般会計分～



地域資源を生かした
豊かなまちづくり

新規就農者等支援事業	事業費 4,503万円
受益者負担 45.8% 農業振興基金 54.2%	
未来につなぐ森づくり推進事業	事業費 1,187万円
国・道補助金 61.5% 借入金 37.9% 一般財源 0.6%	
農地耕作条件改善事業	事業費 4,062万円
国・道補助金 69.0% 借入金 30.8% 一般財源 0.2%	

ともに支えあい安心・安全に
暮らせるまちづくり



地域における生活困窮者支援等のための 共助の基盤づくり事業	事業費 500万円
国・道補助金 40.0% 一般財源 60.0%	
防災行政無線更新事業	事業費 1億1,244万円
借入金 100.0%	

「ともに学び支えあい

「活力のあるまちづくり」を目標として

町では、まちづくりの長期計画として、第6次総合計画（平成23年度～令和2年度）を定め、分野項目に分類して各種事業を実施しています。



生涯を通じて学び
豊かな心を育むまちづくり

子ども英語チャレンジ事業	事業費 591万円
国・道補助金 16.9% 個性あるふるさとづくり基金 83.1%	
本別高校の教育を考える会補助金	事業費 2,766万円
借入金 20.2% 一般財源 79.8%	

快適でやさしさのある
まちづくり



老朽空き家住宅除却支援事業	事業費 193万円
国・道補助金 50.0% 一般財源 50.0%	
公営住宅改善事業	事業費 3,561万円
国・道補助金 39.5% 一般財源 60.5%	



高規格救急車購入

一般会計の借入額

借入金（町債）の状況

借入の目的	令和2年度借入額
道路・橋梁事業	1億 300万円
車両購入（除雪タイヤショベル）	370万円
高規格救急車購入	2,740万円
本別町都市公園安全・安心対策事業	1,800万円
営農用水事業	1億 4,820万円
農地耕作条件改善事業	1,250万円
畜産担い手育成総合整備事業	110万円
特定間伐等促進対策事業	940万円
防災行政無線整備事業	1億 1,240万円
北海道総合行政情報ネットワーク改修事業	340万円
病院施設設備等改修事業	1,240万円
過疎地域自立促進特別事業	6,640万円
臨時財政対策債	1億 2,016万円
減収補てん債	952万円
特別減収対策債	450万円
校内通信ネットワーク整備事業	590万円
合計	6億 5,798万円



なぜ借入金（町債） をするの？

町で行う大きな事業には、国からの同意を受けてお金を借りるものがあります。当然その年度の収入だけでは足りないから借りるのですが、また違った意味もあります。皆さんが納めた税金などを使って10年、20年かけて借入金を返済していくことにより、長く使われる施設は、「使用する世代みんなで負担しよう」という意味もあります。

そして、返済金の一部を国が負担してくれる有利な借り入れを選択したり、以前に借りた利率の高いものを現在の利率の低いものに借り換えたりして、町の負担が少しでも小さくなるようにやり繰りをしています。



本別町都市公園安全・安心対策事業（本別公園アスレチック施設の更新）



特別会計・企業会計の決算状況



企業会計

	歳入	歳出
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支 11億7,079万円 資本的収支 1億1,947万円	12億2,389万円 1億5,902万円
水道事業会計	収益的収支 1億6,287万円 資本的収支 1,051万円	1億5,881万円 7,226万円

特別会計

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	10億2,191万円	9億9,515万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,365万円	1億4,353万円
介護保険事業特別会計	10億8,486万円	10億6,240万円
介護サービス事業特別会計	3億9,561万円	3億9,278万円
簡易水道特別会計	1億 412万円	1億 72万円
公共下水道特別会計	4億5,390万円	4億5,001万円

町では事業を効率よく運営していくために、大きく3つの財布（会計）に分けています。一般会計は、町政を運営するための中心的な経理をするための財布。特別会計は特定の収入・支出を他のものと区別して経理するための財布。企業会計は、一般会計とは全く違い、独立採算制を基本としているので、民間の会社のような会計になっています。



一般財源：何にでも使えるお金で、例えば町税・地方交付税などです
収益的収支：事業活動に伴い発生が予定されるすべての収益と費用のことです
資本的収支：将来の事業活動に備えて行う建設改良および建設改良にかかる企業債償還金などの支出とその財源となる収入のことです



マチの借入金現在高（令和2年度末）

総額 117億3,125万円

町民1人当たり 178万7,483円

	内 訳	金 額	町民1人当たり	
一 般 会 計	道路新設改良舗装	8億 2,338万円	12万 5,458円	
	農林道および農業基盤整備	9億 7,776万円	14万 8,981円	
	学校建設および改築	4億 5,351万円	6万 9,101円	
	公営住宅建設および改良	6億 1,756万円	9万 4,097円	
	災害復旧	3,852万円	5,869円	
	その他	18億 5,103万円	28万 2,040円	
	臨時財政対策債	25億 4,588万円	38万 7,914円	
	小 計	73億 764万円	111万 3,460円	
	特 別 会 計 ・ 企 業 会 計	病院建設および医療器械購入	6億 9,003万円	10万 5,139円
		簡 易 水 道	5億 1,747万円	7万 8,847円
公 共 下 水 道		23億 2,846万円	35万 4,786円	
上 水 道		8億 8,765万円	13万 5,251円	
小 計	44億 2,361万円	67万 4,023円		
【参考】債務負担行為（一般会計）	8億 2,401万円	12万 5,554円		



借入金って、 あとどれくらい 残っているの？

特定の収入で運営される特別会計や企業会計を除く、令和2年度末の現在高は73億764万円で、町民1人あたり約111万円となっています。

地方交付税などの収入が大きく落ち込んでいることから、いっそうの経費節減などを実施して今後の返済計画を立てています。

※債務負担行為とは～1つの事業が単年度で終了せず、翌年度以降も支出が必要なもの

本別都市計画用途地域の変更を行いました

町では、近年の市街地周辺の農地保全のため、今年度、本別都市計画用途地域の変更を行いました。主な変更内容は、農地沿道の土地利用の状況や地形の状況を考慮しながら、土地利用規制の整合と農業の利便の増進を図りつつ、都市農地と調和した良好な住居の環境を保護していく事を目的に、用途地域の見直しを行いました。また、コンパクトな市街地の形成に向けて、今後、市街化としての用途が見込まれず、将来的にも農地として保全していく事が望ましい土地に対して、用途地域の廃止を行いました。

変更内容

変更内容については、下記図の1・3・4（栄町地区）、6（弥生町地区）番が各用途地域の見直しによる変更指定となっております。2（栄町地区）5（弥生町地区）番は農業振興区域への編入による用途地域の廃止となっております。

用途地域面積については、316・9haから309・9haとなりました。

●これらの内容については、令和3年8月5日開催の本別町都市計画審議会にて議決され、北海道の協議回答を得て、令和3年10月29日に決定、告示をしています。

問い合わせ

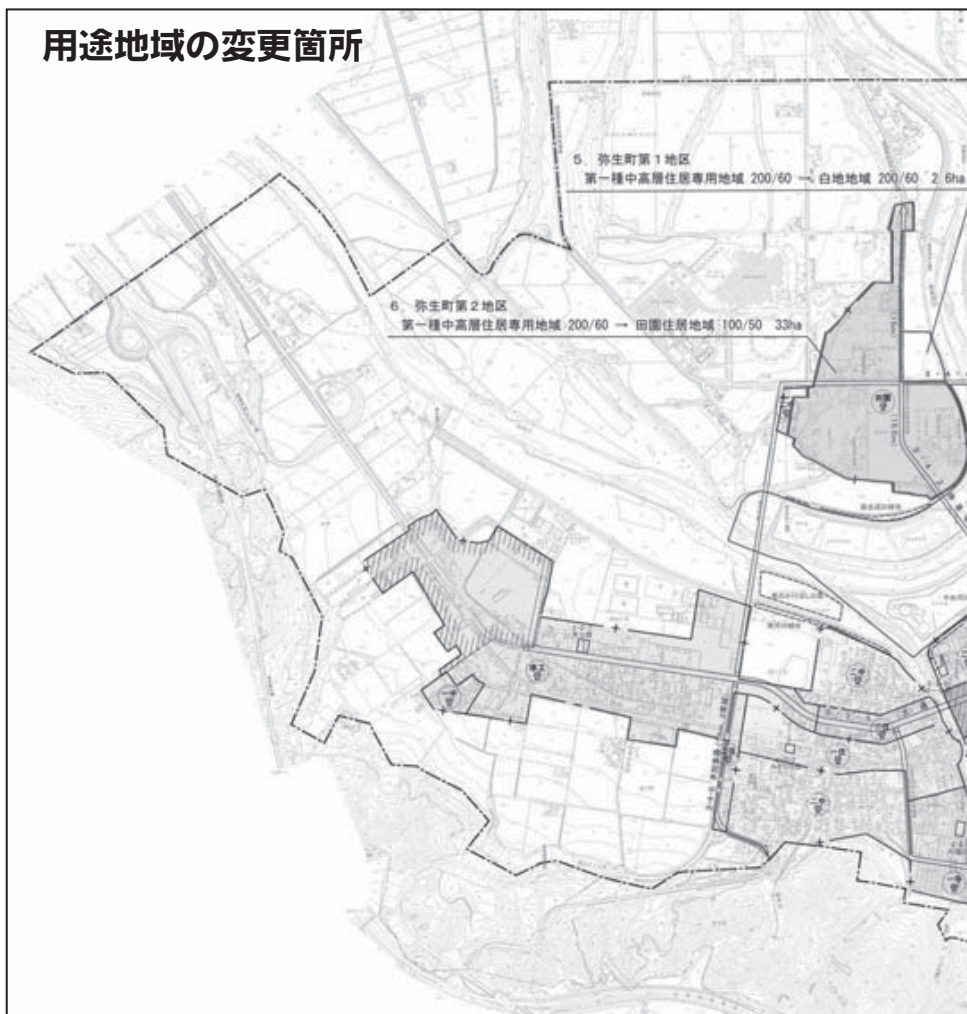
建設水道課

土木・建築・

車両・公園担当

0222-81222

用途地域の変更箇所



図書館の本をネットで探そう！

この本ありますか？

今年の4月から、町図書館の本をネットで検索できるようになりました。図書館に行かなくても借りたい本があるか探すことができるのですが、知らなかった人や使い方がよく分からない人も多いのではないのでしょうか？ これを読んで、忙しいときや思い立ったときに、ぜひ図書館の本を検索してみてください。

入門編 まずは検索ページへ！

【方法1】左ページ下のアドレスまたはQRコードから直接アクセス ↓ トップページへ
 【方法2】町ホームページのビックアップコーナーより、図書検索システム を選択 ↓ 図書の検索はこちら を選択 ↓ トップページへ
 ☆ブックマークやお気に入り登録をしておくとも便利！

下の図を見ながら
左ページにチャレンジ

基本編 本を検索してみよう！

①検索ボックスに探したい本の書名や著者名などを入力（スマートフォンは①検索ボタンを押すと検索ボックスが出ます）
 ☆検索はひらがながおすすめ！



検索結果一覧が表示されたら、気になる本のタイトルを押すと個別ページでその本の情報を見ることができます



【トップページ（スマートフォン）】



- トップページ ここをチェック！**
- ① 検索ボックス（ボタン）
 - ② メニュー
 - ③ 図書館カレンダー
休館日が表示されます
 - ④ お知らせ
イベントやお知らせが表示されます

【トップページ（PC）】



応用編 新しい本を見てみよう！

②メニューから資料検索を選択（スマートフォンは②メニューボタンを押すと開きます） ↓ 開いたメニューから新着検索を選択 ↓ ジャナルから読みたい本の分野を選択 ↓ 最近図書館に入った本の一覧が表示されます



☆ジャンルは全部で18種類！

番外編 こんな情報も：

③図書館カレンダーで開館日や休館日を確認したり、読み聞かせ会などのイベントも
 ④お知らせから見たりすることができます。
 チェックして図書館へ！



図書館ボランティアによる読み聞かせ会や講演会などの情報も分かります

アドレスはこちら → https://ilisod005.apsel.jp/honbetsu_library/

本別町図書館 問い合わせ 2021-5-11-2



郷土芸能義経太鼓

子どもから大人までが日ごろの文化活動の成果を披露する令和3年度本別町文化祭（町文化協会・町教育委員会主催）が11月2日から7日までの期間、中央公民館で開催されました。会場では、作品展示や芸能発表会などが繰り広げられ、約440人の来場者を楽しませました。

生まれる多くの喜び

今年新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「作品展示」を11月2日から4日、「お茶会」を文化の日の3日、「芸能発表会」を7日と、日程を分散しての開催となりました。3日間を通して行われた「作品展示」では、12の文化団体・個人による手芸や生け花、絵画などの個性あふれる作品が展示され、訪れた人たちの目を惹きました。お茶会では、本別伝統文化継承会・千歳会の子供たちが、お茶とお菓子で来場者をもてなしました。最終日には、昨年開催できなかった「芸能発表会」が行われ、13団体78人が18演目に出演。民謡や舞踊、フラダンス、ヒップホップダンスなどを披露し、来場者たちから大きな拍手が送られました。文化祭では、「発表する喜び」や「感動する喜び」など多くの喜びが生まれるとともに、一人ひとりが主役として活躍していました。



お茶会



華道



手芸（タイルクラフト）



民謡（本別民謡友の会）



舞踊（芳彦会）



舞踊（グラン ジュテ パレエ）



フラダンス（ハワイアンフラ ステラ）



ヒップホップダンス（Dancing stars）

令和3年度 文化奨励賞授賞式

令和3年度文化奨励賞授賞式が11月3日、中央公民館で開催され、吹奏楽コンクールなどで優秀な成績を取った本別高等学校吹奏楽部が受賞しました。

高橋哲也教育長が「そのご努力に改めて敬意を表しますとともに、活動を支えられたご家族をはじめ関係する皆さんに深く感謝いたします」と式辞を述べた後、同校吹奏楽部の皆さんに賞状と記念品を手渡しました。佐々木基裕町長と高橋利勝町議会議長の祝辞に続き、同校吹奏楽部部長の鈴木月乃さんが「昨年、今年とコロナ禍で演奏の機会が少なくなった中で頑張ってきて本当に良かったと思います。これからも聞いてくださる方々の心に響く演奏ができるよう精進していきます」とお礼の言葉を述べました。



謝辞を述べる鈴木部長

賞状授与



記念撮影

HELLO 榑中央小学校

学校教育目標
 自らを高めようとする子ども
 考える子
 助け合う子
 がんばる子

ICT教育



タブレットを利用した授業～2年生以上にタブレットを配布。夏休みには自宅でも活用



英語のデジタル教科書～教科書を音声や映像でサポートしてくれます

授業動画



6・9月の授業参観が延期になりSNSを利用して動画を配信



動画撮影スタジオの整備～教室の一部を改装しリモート授業や会議に対応。授業動画や担任からのメッセージ撮影などに活用

古里教育



農業体験～JA本別青年部の皆さんの力を借り、町の基幹産業を体感



Sammy & Green～放課後活動の時間を活用し、教育委員会主催の英語活動に参加(1・2年)

今、学校は『with コロナ時代』の中、子供たちの学びを止めないを合い言葉に、新たな学校づくりを一歩ずつ進めています。コロナ感染防止対策と折り合いを付け、保護者の皆さまのご理解のもと、未来を生きる子供たちにとって魅力ある教育を創造していきます。また、交通安全教室・ぞうきんの寄付・交通安全マスクット寄付など地域の皆さまのご支援に感謝申し上げます。

9/13 本別町とスカイアースが包括連携協定を締結

この協定は、「心を合わせてみんなの笑顔を未来につなぐ」をスローガンに、「健康スポーツ推進の町」を宣言している本別町とスカイアースが多様な分野で包括的に連携し、地域の活性化を図るため締結しました。今後は、町民の健康増進や子供たちの運動能力向上につながるイベント等を開催していく予定です。



皆さんこんにちは！健康スポーツ推進員の吉田哲登です。広報紙ではこれまで、健康スポーツ推進員の活動として少年団指導やYouTubeでの動画配信、サッカー選手として北海道十勝スカイアース（以下「スカイアース」）での活動を紹介してきました。今回は、9月13日に町とスカイアースの運営会社である北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社が締結した包括連携協定と、その後の10月29日に開催した健康づくり教室「ライフキネティック講習会」について紹介します。

地域おこし協力隊が行く



Part 18

「地域おこし協力隊」健康スポーツ推進員の吉田哲登さんが、その取り組みについて紹介します。

ライフキネティックとは

ライフキネティックは、ドイツの運動指導者が研究開発した「運動と脳トレを組み合わせたエクササイズ」です。誰でもできる簡単な動きを通じて脳に刺激を与え、脳機能の向上と神経の伝達機能強化を促すことで普段眠っている脳の能力、柔軟性、処理速度が高まるといった効果が期待できます。4歳以上であれば、年齢・体力にかかわらず、誰もが楽しくできるのが特徴です。

10/29 健康づくり教室「ライフキネティック講習会」を開催しました

スカイアースのライフキネティックトレーナーである菅原悠貴さんを講師にお招きし、ふれあい多目的アリーナ（銀河アリーナ）で開催しました。この日は、町内の高齢者や若者など14人の参加者が集まり、私もアシスタントとして指導をしながら、皆さんと一緒に運動を楽しみました。

内容は、ボールの色によって渡す相手を変えるゲーム感覚の運動や、お手玉を相手に投げる間に腕を動かさずといった複数の動作を一度に行うものなど、「認知症予防」や「介護予防」につながるメニューを実施しました。

「げんきくんちゃんねる」でトレーニング動画配信中！

町教育委員会のYouTubeチャンネル「げんきくんちゃんねる」にて、自宅でできるトレーニング法を動画で紹介しています。ぜひご覧ください。



町体育館内スポーツ担当
0221-23331

健康スポーツ推進員としては、上記の協定を生かして、今後さまざまなイベント等を企画していきたいと考えています。また、スカイアースの選手としては、先日、昨年に続きJFL昇格の懸かる全国地域チャンピオンリーグに出場しました。残念ながら昇格はかないままでしたが、子供たちに夢や希望を与えらるよう、今後も頑張りますので、応援のほどよろしくお願いします。

令和3年度 防火標語・防火ポスター入賞者決まる 10 15~21

本別町防火管理者連絡協議会（宮崎統会長）、本別町危険物安全協会（伊藤英昭会長）が本別ライオンズクラブ（桑田達一会長）の協賛を得て、町内の小学校4年生から6年生を対象に防火標語と防火ポスターの募集をしたところ、防火標語101編、防火ポスター56作品の応募がありました。子供たちからの火災予防へのメッセージが込められた作品は、防火標語・防火ポスター展として10月15日から21日まで中央公民館ロビーに展示されました。また、防火ポスターの部最優秀賞（本別町防火管理者連絡協議会会長賞）の作品は、防火ポスターとして印刷され町内各事業所に配布し掲示されています。入賞者は次の通り。（敬称略）

【防火標語の部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝「火事のもと 色んなとこに かくれてる」
 山下稀実花（勇足小6年）

本別町危険物安全協会会長賞＝「見逃すな 君の近くに 火の悪ま」 中野 翠（中央小5年）

本別ライオンズクラブ会長賞＝
 「小さい火 風にとばされ 大さん事」
 福良理乃（仙美里小4年）

【防火ポスターの部】

本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝
 上田志保（勇足小6年）

本別町危険物安全協会会長賞＝
 野原千華子（中央小5年）

本別ライオンズクラブ会長賞＝
 塚林みなみ（仙美里小5年）



秋は本をいっぱい読みましょう 10 16

全国読書週間（10月27日～11月9日）に向けた「ぶっくる一むこどもまつり」が10月16日、図書館で開かれました。これは、毎月第3土曜日に開催している「おはなしぶっくる一む」の拡大版として実施したもので、例年4月に開催している「としょかんこどもまつり」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていたことから昨年に引き続き企画。この日は、図書館ボランティア「ぶっくる」の会員4人が大型絵本など5冊を読み聞かせした後、影絵劇「鶴の恩返し」のDVDを上映。参加した19人の親子らは、耳を澄ましながら作品をじっくりと堪能しました。



町老人クラブ連合会 が地域貢献活動 10 15

町老人クラブ連合会（小川健次会長）の会員51人が10月15日、総合ケアセンター裏庭の木の剪定作業と本別公園内のごみ拾いを行いました。これは、同会が地域貢献活動の一環として毎年行っているもの。総合ケアセンターでは、小川会長が「コロナで他の行事はできていないが、今日は外で交流しながら剪定を行いましょう」とあいさつ。参加した会員らの協力により、各所はきれいになりました。



安全に通行 できる町道に 10 13~15

伊藤組土建（玉木勝美社長）・アスワン（木川靖洋社長） 経常建設共同企業体の職員9人が10月13日から15日までの3日間、地域貢献活動の一環として、町道明美仙美里間道路の支障木の伐採・処分および清掃作業を行いました。これによって、見通しが良くなり、安全に通行できるようになりました。



火災予防を訴える 10 15

秋の全道火災予防運動（10月15日から31日）初日の10月15日、防火パレードが町内で実施されました。パレードは、午前9時にサイレンが吹鳴され、佐々木基裕町長が「町民の皆さんの尊い命と貴重な財産を守るため、さらなるご尽力をいただきたい」とあいさつした後、消防車9台と危険物安全協会会員の車両10台の計19台が消防署前を出発し、市街地約5kmを走行しながら火災予防を訴えました。



国民年金

将来の年金額を増やせる
付加年金制度
 その236

付加年金制度は、毎月の国民年金保険料に加えて付加保険料（月額400円）を納めることで、将来受け取る老齢基礎年金を増やすことができる制度です。付加年金制度を利用すると、増額された老齢基礎年金を一生受給でき、大変お得です。

対象となる人

- ・国民年金第1号被保険者
- ・任意加入被保険者（65歳以上の人を除く）
- ※国民年金保険料を免除（一部免除・学生納付特例・納付猶予を含む）された人、国民年金基金に加入している人や第3号被保険者の人は申請できません

付加年金の試算例
 40歳から60歳まで付加保険料を納付した場合

付加保険料の納付額	4000円×12カ月×20年＝9万6000円
付加される年金額（年額）	2000円×12カ月×20年＝4万8000円

例えば、65歳から78歳（※）までの13年間年金を受給したとすると、4万8000円×13年＝62万4000円
 ここから付加保険料の納付額を引くと、62万4000円－9万6000円＝52万8000円
 13年間で約52万円多く受給できます。
 （※）男性の平均寿命

申請方法

マイナンバーカードまたは年金手帳（基礎年金番号がわかるもの）、おおよび本人確認書類（運転免許証等）を持参のうえ、住民課戸籍年金担当窓口で申請してください。
 ※手続きした月の分から納めることができます

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
0221-812180
 日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>

「ぶっくる」が道の優良グループ表彰 11 4

図書館ボランティア「ぶっくる」（綾野治男会長・会員32人）が北海道読書推進運動協議会主催の令和3年度優良グループ表彰本賞を受賞し、伝達表彰式が11月4日、町教育委員会で行われました。ぶっくるは、平成12年に結成し、図書館で月1回開催する読み聞かせ会のほか、保育所や小学校、高齢者施設などでの読み聞かせや朗読活動を行っており、また、図書館内でカフェの運営やイベントの協力も精力的に実施。その活動を通じ読書の大切さや楽しさを伝えたことが評価され受賞されました。この日は会員9人が出席し、高橋哲也教育長から賞状と記念品を受け取りました。綾野会長は「もっと続けていきたい。楽しみながら読み聞かせをする会員の姿も見てもらえれば」と受賞の喜びを語りました。



本中生、学校を飛び出し社会を学ぶ 10 25・26

本別中学校（都鳥秀史校長）の2年生42人が10月25日、26日の2日間、町内18カ所の事業所等で職場体験学習を行いました。この学習は、生徒たちに働くことや進路選択への関心、意欲を高める目的として実施されたもの。図書館では、塚田ちひろさん、福地優香さん、山岡汰緒さんが本の貸し出しや本棚の整理、ポップ作りを体験し「図書館には、よく本を借りに来るが実際に働いてみると忙しかった。仕事とはどういうものか理解できた」と貴重な体験を終えて、感想を話していました。

※この記事と写真は、職場体験で役場を訪れた本別中学校2年の太田優季さん、大和田花音さん、笠原来さんが取材し書いたものです



練習の成果をお父さんお母さんに披露 10 20～11 4

本別中央小学校（式見祝賀校長・173人）の学習発表会が10月20日から11月4日までの4日間に分けて、同校体育館で開催されました。児童たちは日頃から練習してきたダンスや劇などを、会場を訪れた保護者らの前で精いっぱい披露しました。



「なにかよしパーティー」
◀1年生



「おののおきやへん」
▶2年生

つつじの園へ野菜を寄贈 10 28

北海道農業大学校（上西新次校長）畑作園芸経営学科の学生4人が10月28日、NPO法人ほんべつつつじの園（新津和也理事長）の事業所を訪問し、同校の農場で生産した野菜を寄贈しました。これは、毎年同校の卒業記念品をつつじの園で作製していることから、学生がそのお礼として行っているもの。同学科の鬼塚大地農場長らは、パレイショ10キロ、タマネギ20キロ、ナガイモ10キロ、豆類6キロなどをつつじの園の利用者に手渡しました。新津理事長は「毎年おいしい野菜をいただき感謝している。このご縁を大切にしていきたい」と感謝の言葉を述べました。



ひばりの会で認知症サポーター養成講座 10 19

本別町在宅介護者を支える会（小笠原良美会長）による介護者の交流の場である「ひばりの会」が10月19日、ふれあい交流館で開催されました。この日のプログラムは、町の認知症事業の取り組みの一つである「認知症サポーター養成講座」で、町地域包括支援センターの本多朝美保健師と山本優子保健師が講師を務め、認知症の症状や原因となる脳の病気、認知症の人との接し方などについて説明。参加した会員ら26人は、認知症への理解を深め、町の認知症サポーターに登録されました。



自己記録に挑戦 10 16

町水泳協会（及川哲夫会長）主催の第46回本別町民水泳大会兼第1回本別水泳スポーツ少年団記録会が10月16日、町民水泳プールで開催されました。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の影響により、同プールでの今シーズン最初で最後の開催となったこの大会には、町内の小学1年生から中学生1年生の29人が9種目に出場。選手たちは、父母らの応援のもと自己記録に挑戦し、最後まで泳ぎました。



新会長に高橋哲夫さんを選出 10 19

健康長寿のまちづくり会議が10月19日、総合ケアセンターで開かれました。任期満了に伴う改選後初の開催となったこの日は、初めに佐々木基裕町長から委員21人中、この日出席した委員18人に任命書を交付。新役員は互選により、会長に高橋哲夫さん、副会長に北谷志津子さん、岡崎慶太さん、事務局長に竹田稔さんを選出しました。新会長に選出された高橋会長は「大変な重責ですが、委員皆さんのお力添えをいただき務めさせていただきたい」と抱負を述べました。その後会議では、銀河福祉タウン計画の重点事項となっている「特別養護老人ホームのあり方」についてや委員の任期を現在の2年から銀河福祉タウン計画期間に合わせ3年とする「健康長寿のまちづくり条例」改定案などについて話し合いました。



防犯ポスターで勇足小の4人を表彰 10 22

地域生活安全推進活動および社会を明るくする運動の一環として、防犯ポスターの募集（町・本別警察署・町生活安全推進協議会・社会を明るくする運動本別町実施委員会共催）をしたところ、16作品の応募があり10月22日、表彰式が役場で行われました。勇足小学校4年の今野大河さんが最優秀賞を受賞し、佐々木基裕町長から表彰状とトロフィー、記念品が手渡されました。その他の入賞者は次の通り。（敬称略）

- 本別町長賞 = 金山 葵（勇足小3年）
- 本別警察署長賞 = 吉川 慧 椰（勇足小3年）
- 本別町生活安全推進協議会長賞 = 山下 和 花（勇足小3年）



令和3年度 防犯ポスター表彰式

みんなの健康

448

冬は気温が下がり、空気の乾燥によってウイルスの感染力が長く持続するため、インフルエンザやノロウイルスなど感染症に注意が必要です。新型コロナウイルスも「第6波」の感染拡大が予想され、一層の予防に努めなければなりません。

冬季の感染防止対策

- ① こまめな手洗い・手指消毒
物を触ることで、知らないうちにウイルスが手に付きます。その手で目・鼻・口を触ることで、ウイルスが粘膜から体内へ侵入して感染します。帰宅時などは手洗いと手指消毒を行うことでウイルスを除去することができます。
- ② マスクの着用
感染症状がないときも、人と接触する際にはマスクを着用しましょう。自分の顔にフィットしたマスクを選び、正しく使用することが重要です。
- ③ 感染に負けない体・環境づくり

フランスの良い食事も十分な睡眠により免疫力を高めます。室内の湿度は50〜60%に保ち、三密（密閉・密集・密接）を避けましょう。

- ④ 予防接種を受ける
ワクチンは感染症発症の可能性を減らし、発症しても重症化を防ぎます。
- ⑤ 食品からの感染を防ぐ
加熱する食材は、中心部までしっかりと火を通すことが重要です。調理器具はいつも清潔に保ちましょう。
- ⑥ 体調不良時の外出を控える
発熱時などは感染を防ぐためにも、学校や仕事を休むなど無理せず外出を控えましょう。



本別町国民健康保険病院
総看護師長
歌住 桂子

⑦ 医療機関受診時の相談
発熱や風邪症状がある場合は、かかりつけ医など医療機関に電話で相談し、病院の指示に従ってください。医療機関では発熱者を受け入れるに当たり、他の患者さまや医療従事者を守るためにも直接受診しないようお願いいたします。当院では発熱外来を設けており、受診時間や待機場所などご案内いたします。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのほんのほんの愛で囲まれてくまなく育つてね！



美里別西中
伊藤 紬 (つむぎ) (響海くぐり)

名前の由来
紬の着物のように丈夫で自分らしさを大切する美しい子になってほしい



※写真は大人数で了解を得た上で掲載しています

ご寄付ありがとうございます

令和3年10月16日から11月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★ 図書館図書購入費指定
金 200,000円 …… 南3丁目 税理士法人 TAP
- ★ 図書館指定
金 100,000円 …… 北8丁目 大和田 収
- ★ 勇足へき地保育所指定
児童用手作りマスク 25枚 …… 匿名

★ 総合運動公園太陽の丘野球場指定
ブルーシート 30枚
…… 仙美里グレートフレンズ育成会 代表 本寺 誠

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
※本人希望の寄付者のみを掲載させていただきます
金 500,000円 …… 北8丁目 大和田 収
金 2,200,000円 …… 札幌市 前田 政快
計 金 10,955,500円 …… 542人 (上記含む)

副町長就任・退任ごあいさつ

第3回定例会で10月14日、副町長を選任する議案が提出され、総務課長の村本信幸氏が副町長に選任されました。平成29年から4年間にわたり副町長の任にあった大和田収氏は10月29日、任期満了により退任いたしました。



就任のごあいさつ
本別町副町長
むらもと のぶゆき
村本 信幸 氏

このたび、議会の同意をいただき、副町長の職を拝命いたしました。地方自治を取り巻く社会情勢は多種・多様であり、本町におきましてもスピード感をもって対応しなければならない課題が山積しています。微力ではございますが、佐々木町長の補佐役として議会や関係団体等の皆さまと連携を図り、町政の公平性と透明性を確保し、職員一丸となって直面する課題の解決に取り組んでまいります。これまでも職員として町政運営に関わってきましたが、今後も施策の推進に誠心誠意努めてまいりますので、これまでと同様、町民の皆さまのご支援とご指導を賜りますよう、お願いいたします。



退任のごあいさつ
前本別町副町長
おおいわだ おさむ
大和田 収 氏

このたび、副町長の職を退任いたしました。在任中は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国内外の経済に大きな打撃をもたらしましたが、一日も早い収束を目指し、ワクチン接種をはじめとした感染拡大防止と、停滞する経済活動の回復に全力を挙げて取り組んだことが強く印象に残っております。おかげさまで町民の皆さまのお力添えにより、無事職務を全うし、4年間の任期を終えることができました。改めまして、これまでご指導とご鞭撻をいただきました皆さまにお礼申し上げますとともに、今後は一町民として町民の皆さまのご健勝と本別町の飛躍をお祈りし、退任のあいさつといたします。

銀河ホップアップインジ

足寄町
クリスマスケーキの予約開始!



Document
インスタグラ
ムのQRコードは
こちら↓



陸別町

「あかえぞ」第38号



- 随筆・俳句・詩・随想など町内外の24人による作品が寄せられ、11月1日発行されました。また、川富士立夏さん（「コミック版ふるさと銀河線 軌道春秋」の原作者）から「大先生の陸別忍吸」の特別寄稿をいただいております。
- 頒布価格 1冊 5000円
- 頒布場所・問い合わせ
・アートサロン「カンピー」 ☎271-3982
・陸別町観光物産館 ☎271-2012

本のある暮らし 249

楽しくふれあいたい ことばのちから

戸籍のまど

お誕生

10月後半から
11月前半の
届出分

薩田 琉翔^{りゅうと}くん 和樹^{わじゅ}さん 10/21 南4丁目
未菜^{みな}さん
斎藤 夕愛^{ゆい}ちゃん 裕太^{ゆうた}さん 11/2 山手町
富見^{とみ}香^かさん
中川 蓮^{れん}くん 浩幸^{こうき}さん 11/9 北5丁目
真利子^{まろこ}さん

おくやみ

門脇 英樹^{へいじゅ}さん 56歳 10/15 北1丁目
星崎 幸成^{ゆきなり}さん 92歳 10/17 柏木町
清水 義博^{よしかひろ}さん 94歳 10/19 西仙美里
吉田 セツ^{せつ}さん 88歳 10/23 西仙美里
阿保 富男^{とみお}さん 86歳 11/4 栄町
辻口 満^{みつ}さん 79歳 11/4 山手町
朝日 政江^{まさえ}さん 89歳 11/14 南4丁目
井出 静子^{しずこ}さん 96歳 11/14 新町
小川 成敏^{なるみ}さん 85歳 11/14 上仙美里
松井 洋^{ひろ}さん 86歳 11/15 南2丁目

本のまち

夢づくり

講演会



歌人・エッセイスト
講師 穂村 弘^{ひろ}さん

とき 12月12日(日)

午後3時30分 開場 ※予約券が必要です
午後4時 講演「ことばのちから」
午後5時20分 聞き手との対談「トークQ&A」

入場無料
先着100名様

ところ 本別町中央公民館 大ホール

● 穂村さんって…

1962(昭和37)年、札幌市生まれ。上智大学在学中から作歌を始め、1986年、歌集「シンジケート」でデビュー。第32回角川短歌賞次席。2018年、歌集『水中翼船炎上中』で第23回若山牧水賞受賞。月刊『ダ・ヴィンチ』に「短歌ください」、北海道新聞に「やわらか眼鏡」を連載中。中学国語の教科書に「短歌の味わい」を執筆。

● 読んで、聞いて、楽しい穂村ワールド

穂村さんの本を読むと、クスクス笑えて、ふむふむ納得できて、いつの間にか心がやわらかくなっています。お話も「ウソでしょ？」という驚きや、「あるある～」という共感がいっぱいですよ！

お話を聞いて「ことばのセンス」を磨きませんか？

わたしたちのまち

前月比
人口 6,565人(-10)
男 3,228人(-4)
女 3,337人(-6)
世帯数 3,546戸(-5)
〔10月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館 (愛称:ぶつくるーぶ)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

※図書館の本をインターネットで検索できます
⇒https://ilisod005.apsel.jp/honbetsu_library/

QRコードはこちら↓

